

# 県内無料検査数 大幅増

## 直近1週間で1439件 前週比32倍

県内の医療機関や薬局などで受けられる新型コロナウイルスの無症状者に対する無料検査について、四十日の一週間の実績は千四百二十九件で、前週の三十三倍と大幅に増えたことが、県のまとめで分かった。

この中で三件の陽性が判明した。感染拡大に伴い四日から対象が広がり、帰省関係などの利用が増えたとみられる。＝新型コロナウイルス関連②③④⑤⑥⑦⑧面、論説⑨面

(山本洋虎)

### 無症状者対象

県が十一日、直近一週間の実施件数として発表した。内訳は、PCR検査が八百二十六件、抗原検査が六百三件だった。うち抗原検査の三件で陽性が判明した。

無症状者を対象にした無料検査は昨年十二月二十五日に始まった。二十八日までの一週間は二件、二十九日～一月三日の一週目は四十五件。陽性は二週目にも一件あった。二週目までの対象は、健康上の理由でワクチン接種ができない人となっていた。

昨年十二月下旬に京都府で新変異株「オミクロン株」が初めて確認され、対応が変わった。県は県と協議して、対象を一月四日から「感染を不安に感じざる

民」に変更。年末年始に県外へ帰省したり、家族などが県外から帰省したりし、感染に不安を感じる県民の利用が増えたという。県内ではオミクロン株が

七日に初確認されて以降、感染が急拡大している。県の担当者は「感染が不安な県民は積極的に無料検査を利用してほしい」と呼び掛ける。

県によると、現行の無料検査は一月末までの予定。県内の実施場所は十一日現在で九十六カ所に上る。県は引き続き、無料検査の実施事業費を確保している。